

かかやき

発行日 令和4年3月1日
発行者 西中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市倉敷西公民館
倉敷市八王寺町199-3
TEL/FAX (086) 424-3610
E-mail ph-kuranishi@kurashiki-oky.ed.jp
http://www.kurashiki-oky.ed.jp/ph/kuranishi

人権作品表彰式



優秀賞受賞
おめでとうございます!!



藤井会長から
賞状を授与されました



作品への思いを発表しました!



令和3年12月5日(日), 西中学校区
の児童生徒が取り組んだ人権に
関する作文・標語・ポスターの優秀
作品の表彰式を行いました。

本年度は, 各小・中学校から53
点の作品が推薦され, その内9点が
優秀作品に選ばれました。

表彰式では, 児童生徒による作文
の朗読と作品に込められた「思い」
の発表があり, 子どもたちが日常で
感じた身近な人権問題についての
素直な気持ちや考えを聞くことが
でき, 心温まる素晴らしい会になり
ました。

人権作品

人権週間に倉敷西公民館の階段踊り場に展示し、多くの方が鑑賞されました。



優秀賞

作文の部

「できること」
倉敷市立万寿小学校
6年 秋岡 桃心さん

「短所は長所」
倉敷市立中洲小学校
6年 沖津 琴菜さん

「LGBTQ+について
私が思うこと」
倉敷市立西中学校
3年 三村 ひろみさん

標語の部



倉敷市立老松小学校
2年 近藤 椰生さん

一人一人のやさしさが
幸せのかいだん積み上げる
五年二組 角南 敬祐

倉敷市立中洲小学校
5年 角南 敬祐さん

倉敷市立西中学校
3年 原 じこさん

素直な気持ち 伝えよう
少しの勇気が
未来を変える
倉敷市立西中学校 三年
原 じこ

ポスターの部



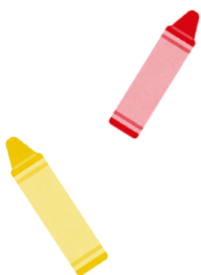
倉敷市立老松小学校
2年 高見 結花さん



倉敷市立倉敷西小学校
5年 小淵 遼介さん



倉敷市立西中学校
1年 田邊 蒼真さん



勤労感謝の会

令和3年11月18日

倉敷市立中洲認定子ども園



勤労感謝の日に合わせて、毎年働く人に日頃の感謝を伝える行事として「勤労感謝の会」を行っています。今年では中洲分署の消防士4名をお招きし避難訓練の様子を見ていただきました。『お（押さない）・か（かけない）・し（しゃべらない）・も（戻らない）』の合い言葉を教えていただき、安全に避難する約束をしました。子どもたちから出た「火事の時、どうして早く着替えることが

できるのですか？」の質問では、「すぐに着替えられるよう靴とズボンがくっついてます」と答えてくださり、実際に消防服の早着替えを見せてもらいました。子どもたちは「はやい！」「すごい！」と拍手喝采でした。

最後に感謝の気持ちとして歌と手作りのネックレスやクリスマスリース、子どもたちの描いた絵をプレゼントしました。後日、中洲交番や園医の先生のところにも訪問してプレゼントを渡しました。

「勤労感謝の会」を通してお世話になっている人や身近で働いている人へ感謝の気持ちを伝えることができました。



絵本をとおして育つもの

倉敷市大内保育園

子どもたちは毎週「貸出絵本の日」に好きな絵本を1冊選び持ち帰っています。短時間で見ることで見られる絵本だからこそ、保護者にも負担が少なく、親子のふれあう時間のきっかけづくりとなっているようです。また、短い文章や、簡単な物語の中にも、優しい気持ちや相手を思いやる行動など、大切にしていきたい姿が表現されていることも、絵本の魅力の一つではないでしょうか。



小さい年齢の子どもが「読んで」という仕草で絵本を差し出してくる姿はとてもほほ笑ましく、膝の上に座って一緒に見る時間は大人も優しい気持ちにさせてくれます。また、3歳以上児クラスでは月に一度、読み聞かせの日を設け、友達と一緒に様々な絵本に親しむ経験も大切にしています。

お気に入りの絵本を見つけそれを見る時間を大切にすること、それが子どもたちの心の育ちにも繋がっていくことを願っています。



やきいもパーティー

倉敷市立老松幼稚園

老松幼稚園では、毎年、老松学区老人クラブ会長の亀山さんにお声を掛けていただき、老松保育園のみなさんと一緒に『サツマイモの栽培』・『収穫』・『やきいもパーティー』という貴重な体験をさせていただいています。



昨年は、新型コロナウイルス感染症対策のために『やきいもパーティー』を実施できませんでしたが、今年度は実施することができました。



まず、朝一番に、たくさんの焚き木を見てびっくり…。そして、もくもくと上がる煙に目を輝かせる子どもたち。老松保育園のお友達も来て一緒においもを火の中へ…。おいしい焼きいもができるのを楽しみにしながら待ちました。待ち時間には、老人クラブの方々のお話をお聞きしたり「やきいもグーチーパー」を歌ったりして楽しく過ごしました。保育園のお友達と一緒に会食はできませんでしたが、それぞれで食べた『やきいも』はとてもおいしかったです。

会長の亀山さん、老人クラブのみなさま、ありがとうございました。老人クラブのみなさまの温かいお心に触れて、楽しい時間を過ごして子どもたちの笑顔が輝くステキな一日となりました。



平成30年7月豪雨災害を 生き抜いた子どもたち

人権教育講演会



1月23日(日)、倉敷西公民館で、令和3年度人権教育講演会(倉敷西公民館主催)が開催されました。講師として、倉敷市立長尾小学校校長(前箭田小学校校長)の大崎卓己先生をお招きし、「平成30年7月豪雨災害を生き抜いた子どもたち」という演題でご講演をいただきました。人権学習推進委員や倉敷西公民館のグループ生など29名が参加しました。

講演では、先生が、箭田小学校校長としてお勤めされていた、平成30年7月豪雨災害時の学校や子どもたちの置かれた状況や、その後、箭田小学校の校舎での学校再開が叶うまでの約1年7か月余りの復旧の歩みと子どもたちの様子について、当時の写真や映像などをまじえながらお話しくださいました。



参加者の感想

- 先生方や子どもたちのご苦労を思い、また、それに負けず強く生きてゆく子どもたちの成長に涙が止まりませんでした。
- 防災と地域と行政のあり方を考えさせられました。